

(9) 大阪公立大学 工学部研究室訪問

実施日程 令和5年12月1日(金)
担当教員 中川 貢希
実施場所 大阪公立大学(中百舌鳥キャンパス)
講師 航空宇宙海洋系専攻 岩佐教授
参加生徒 2年生13名

■仮説

大阪公立大学工学部の研究室を見学させて頂き、その研究施設や内容に直接触れることで、科学的な探求心を養い、また進路決定の意識を高めることができる。

■実践

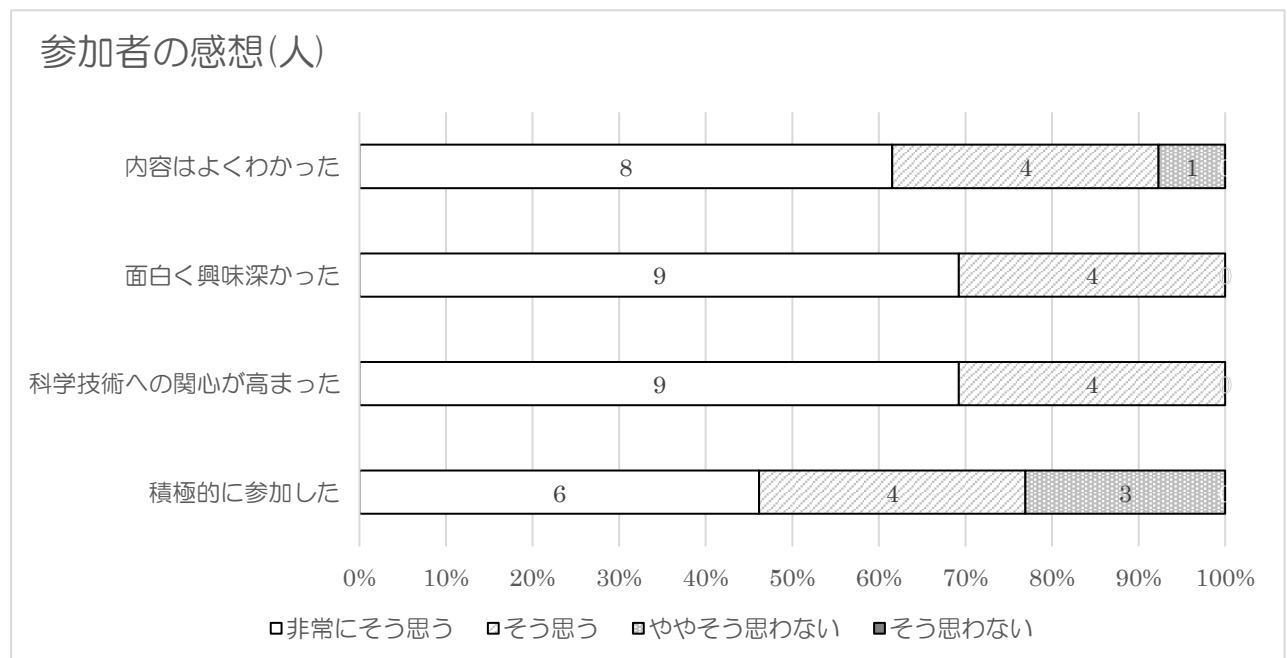
2年生の修学旅行前の午前授業日の午後を利用して実施した。主に航空宇宙工学系の研究室を見学し、研究内容、研究施設、また現在在籍する学生達の研究活動内容にも触れる。教授や学生方と意見交換(質問)を積極的に交わす生徒が多数いた。

■評価

そもそも高校生にとって大学の研究室では、どのような研究をしているかについては、「漠然としていてよく分からない」といったものであった。特に航空宇宙工学という分野においては、その研究内容について、何も知らないという状態であったが、今回の実践を通して実際の研究施設やその内容を丁寧にご教示頂き、具体的なイメージを掴むことができた。

生徒側からの質問も積極的に行い、主体的・能動的な態度で参加する生徒が多かった。

■資料



<参加者の感想>

- ・内容はかなり難しいものだったが、大学での「学び」に触れることができる貴重な機会となった。
- ・宇宙工学など、何も知らなかったが、研究内容、実験に触れることができ興味を湧いた。
- ・第一志望の学科であったので、どの話もおもしろくこれからの勉強のモチベーションになった。
- ・HPで情報を見ているのと、実際に見てみるのでは、全く違って非常に興味深かった。
- ・普段では絶対に行けないような場所にまで、様々な説明と共に見学できて面白かった。
- ・風洞装置を利用して、複雑な形状の物体の周りの空気の流れを知ることができることや、レーザーでスペースデブリを除去するなど、幅広い可能性のある研究が行われていて興味深かった。
- ・参加前は、あまり興味がない分野だったが、話を聞いて面白そうだと感じ、興味を持った。
- ・今までこういった時に質問したことがなかったが、何度も質問して話を聞くことができよかった。

